

減反100%達成へ 農業関係者一丸となって

二月十五日、中央公民館で農家組合長会議が開催されました。当市の減反達成率は昨年八十六パーセントで、県内において唯一の未達成市町村となっています。そのため、今年度完全達成をしたと、農家から負担金を納めてもらい、転作実施者にはそれを返すという新方式を実施することになりました。熱心な討議後、全員が協力していくことを決定しました。



韓国の農協関係者が来市

二月二十二日、韓国ソウル市などの農協関係者が、当市の農業施設などを視察しました。これは、昨年、韓国で開催したにいがたフェア'92がきっかけで、新潟を訪問することになったものです。一行はトマトなどの育苗センターや温室ハウスを見学し、説明を聞きながら熱心にメモをとっていました。



三月一日、豊栄高校（山崎昇校長）で第二十四回目の卒業式が行われました。「今、国内、国外とも激動の時代を迎えています。人生に近道はありません。一步一步、確実に自分の道を行ってください」と祝辞を受けた二百八十七名の卒業生は、感激する両親や在校生、教職員に見送られ校舎を後にしました。

希望を胸に出発の春



目指すはシングルプレーヤー

ゴルフブームは豊栄でもまだまだ衰えはみられないようです。総合体育館の主催するゴルフ教室は、受付開始から二時間程で定員三十人に達しました。二月二十四日には、総合体育館で穴あきボールを使った基礎技術講習が行われ、参加者は右に左にボールを飛ばしていました。四月八日には卒業競技会も行われ、晴れて一人前のゴルファーとなります。

二月二十一日、自ら開発した絵の具で、独特の白の世界を描き続け、世界のトミオカとして知られる洋画家・富岡惣一郎さんの講演会が、福島潟公園休憩管理棟で開催されました。当市を初めて訪れた富岡さんは午前中、潟を一周して冬枯れの福島潟に触れた後、午後から八十人の聴衆を前に講演を行いました。上越市生まれの富岡さんは、雪景色の白色には特別な思い入れがあるようです。講演会では、独自の絵の具、「トミオカホワイト」誕生の秘話やアメリカ滞在中の有名画家の話など、予定時間を一時間近くも超過して熱心に話されました。

また、新潟市の近くに豊かな自然を残す福島潟が在ることにいささか驚いた様子でした。「福島潟は、五十年前に県内のどこでも見られた田舎の景色と少しも変わらない。潟の景色を描くためにまた潟を訪れた」と最後に話され、聴衆から大きな拍手を受けていました。



トミオカホワイトを語る

♪うさぎ追いかの山
小鮒釣りし...♪
ふるさとに 思いをはせて



▲思い出話は尽きません

「私の姪が嫁いだのは、あなたの実家だったのか」「あなたは、〇〇さんの隣ですね」など、ふるさと豊栄を思い出しながらの会話や、セピア色に変わった小学校の卒業写真を友達同志と見入っていたり、豊栄のまちづくりを論じている姿などが会場のあちこちでみられました。また、福引きやカラオケなども行われ、参加者は楽しい一時を過ごしました。最後に、「ふるさと」を合唱した後、来年の再会を誓い終了しました。なお来年は一月三十日に、開催される予定です。



▲新役員の紹介です



消費生活センター情報 ⑫

クレジット・トラブル 名義貸し・カード貸し



名義貸しとは、友人に「パソコンを買いたい自分の名前ではクレジットを組めないので契約書に名前を使わせてほしい」と頼まれたり、顔見知りの販売店から「名前だけ貸してほしい。支払いはこちらです」と頼まれ、クレジットの申込書に自分の名前を使わせることです。

貸した人が「借金をした」と同じことになり、支払い義務も生じます。自分が購入していない商品などの代金を、支払うことにもなりかねません。名義貸しやカード貸しは、しないようにしましょう。（豊栄市消費生活センター）

※来月号からは「健康」をテーマに連載していきます。

